

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年7月4日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年7月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【新事務本館空調設備の冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が新事務本館空調設備の点検を実施したところ、大会議室およびセンターホール用空調設備の冷媒が漏えいしていることを確認。 冷媒は既に全量漏えいしていることを確認。 冷媒漏えいについて相双地方振興局へ連絡済。 大会議室にはスポットクーラーを設置、センターホールには別系統の空調設備にて冷房実施。 今後、漏えい箇所を特定して修理・冷媒再充填を実施予定。</p>	GⅢ	6月28日
2	<p>【3号機燃料取扱用クレーンの水圧ホース用リールの変形について】 当社社員が3号機燃料取扱用クレーンの点検において、主巻動作と連動動作する水圧ホースが動かないことを確認。 水圧ホース用リールが変形し、本体部材と接触したことによりリールが回転できなくなったものと判明。 荷は吊っておらず作業安全上の問題なし。 今後、リール変形の原因を調査し、リールを交換予定。</p>	GⅢ	6月30日
3	<p>【K2タンクエリアD2タンクの水位計の故障について】 当直員が、免震重要棟集中監視室においてK2タンクエリアD2タンクの水位計の計器異常を示す警報が発生し、水位指示が計測範囲以下まで降下していることを確認。 現場確認の結果、当該水位計が故障していることを確認。 隣接タンクとの連結弁を開き、隣接タンクの水位が変動しないことで当該タンクの水位が変動していないことを確認できるため、水位の監視に影響は無し。 また、当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 なお、当該水位計については交換を行い、正常な指示値であることを確認。</p>	GⅢ	6月30日